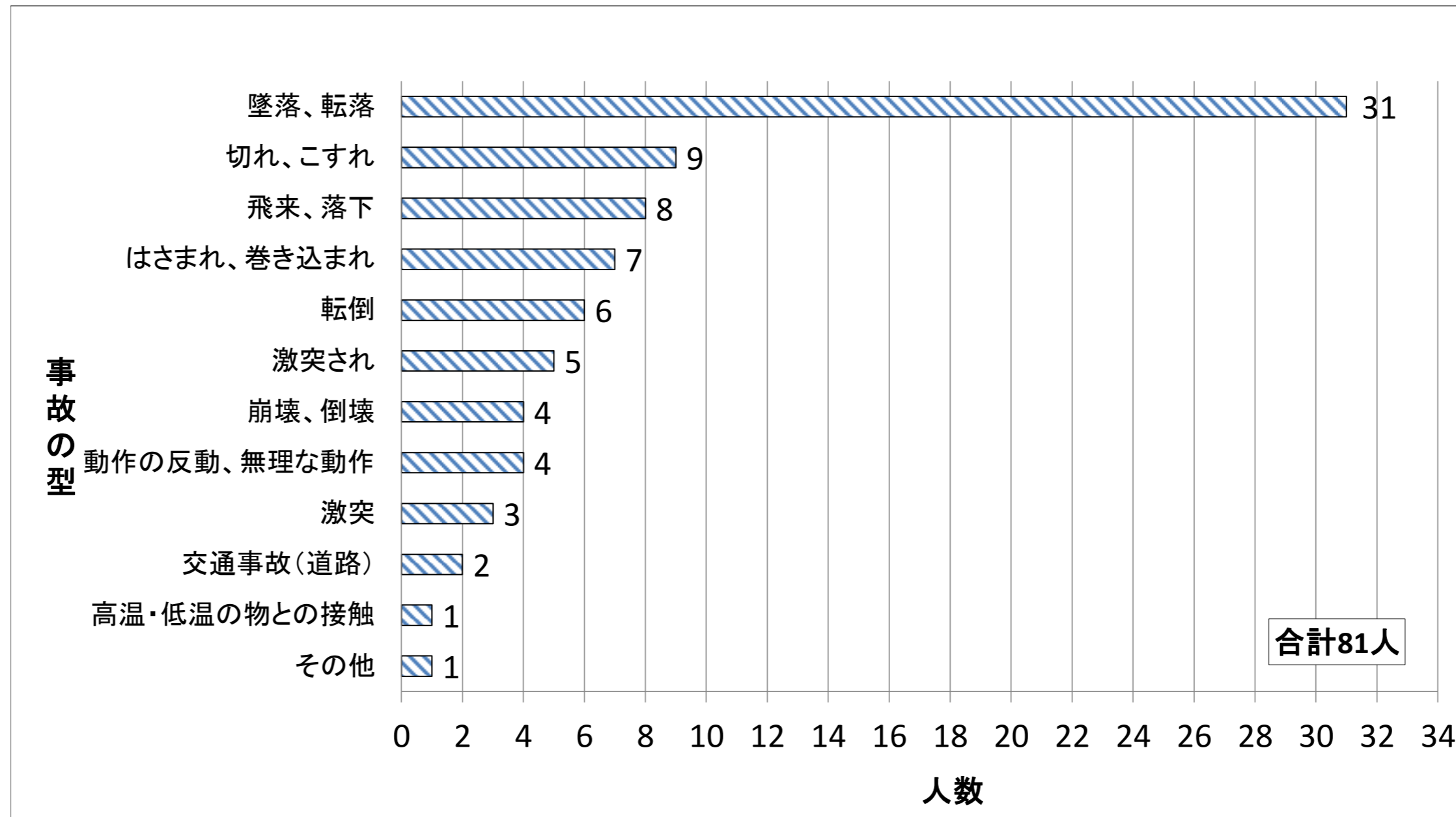


鉄骨・鉄筋コンクリート造家屋建築工事の労働災害の発生状況(25年1月～12月)

1. 災害の原因別

平成26年3月末現在(確定値)



- ①墜落、転落災害が、全体の38.3%を占めています。墜落、転落災害では、脚立又ははしごから作業中又は昇降時に墜落したものが12件と最も多く、次いで足場又は歩み板から墜落したものが7件、建物から墜落したものが5件、屋根から墜落したものが2件発生しています。
- ②切れ、こすれ災害では、ディスクグラインダー等の研削盤によるものが4件、丸のこ盤等の木材加工用機械によるものが2件発生しています。
- ③飛来、落下災害では、解体中建物のタイル又は天井パネルが落下したものが2件、強風により材料が飛来又は落下したものが2件発生しています。
- ④転倒災害では、凍結又は雨で足を滑らせ転倒したものが2件、建物基礎又は床配筋につまずき転倒したものが2件発生しています。
- ⑤はさまれ、巻き込まれ災害では、移動式クレーンで作業中に玉掛者が荷、ワイヤロープにはさまれたものが2件、くい打機の解体作業中にアタッチメントの架台にはさまれたものが1件、高所作業車のオペレーターの手が操作レバーと鉄骨梁との間にはさまれたものが1件、ベンダーを操作中、回転軸に手指を巻き込まれたものが1件発生しています。
- ⑥平成25年は死亡災害が2件発生しています。いずれも交通事故によるものです。

2. 鉄骨・鉄筋コンクリート造家屋建築工事の災害事例(同種災害が多く発生している事例等を例示)

事故の型	起因物	災害の概要
墜落、転落	はしご等	被災者が脚立の上でクロス貼り替え作業中、無理な姿勢で作業を行っていたため、足を滑らせ脚立から墜落した。
墜落、転落	建築物、構築物	被災者が、建物の床開口部の養生蓋に足を掛けたところ、養生蓋がずれ、開口部から階下の床に墜落した。
墜落、転落	足場	足場組立作業中、被災者が昇降設備を使用せず、足場をよじ登ろうとしたところ、足を滑らせ墜落した。
切れ、こすれ	研削盤、バフ盤	解体した鉄筋コンクリートの鉄筋を、被災者がディスクグラインダーで切断していたところ、誤ってディスクグラインダーで手指を切った。
切れ、こすれ	丸のこ盤	被災者が据置式の丸のこ盤でベニヤ板を切断中、ベニヤ板から手を放すタイミングが遅れ、丸のこ盤の歯で手指を切った。
飛来、落下	建築物、構築物	浴室解体作業中、被災者が壁面のタイル及びモルタルを電動ピックではつっていたところ、タイルが足上に落下した。
飛来、落下	木材、竹材	建物の屋上に仮置きした養生用ベニヤ板が強風で飛ばされ、屋上で配筋作業を行っていた被災者に当たった。
転倒	作業床、歩み板	工事現場で、被災者が作業員を呼びに行くため急ぎ足で歩いていたところ、雨に濡れた敷き鉄板上で転倒した。
転倒	建築物、構築物	被災者が建物の床配筋を撮影中、配筋に足を取られ転倒した。
はさまれ、巻き込まれ	移動式クレーン	クレーン機能付きドラグ・ショベルでU字溝をつり上げる際、玉掛者の被災者がU字溝と玉掛用ワイヤロープの間に手指をはさんだ。